

役員所感

財政局長 八木 崇博

「誰かがなんとかしてくれる」政治が、行政が、会社が、誰かが困ったら助けてくれる。そのような社会はある意味理想ですが、残念ながら、他者に過剰な期待をするにはあまりにも社会全体が疲弊しています。地方の小都市である故郷上越の発展や、子どもや高齢者が周囲に支えられ、誰もが希望を持てる地域社会の構築には、誰かに期待するだけではなく、我々が率先して行動していくことこそが、必要不可欠であり最も重要と確信します。

本年、財政局長という大役を拝命し自らに課せる責務は、LOM会計の確実な運営と活動全般に関するコンプライアンスの遵守を担い、且つメンバーが真に意義ある事業を実施するための、後方支援を行うことです。「JCは果敢に挑戦できる場である」そのように先輩諸兄からは常々教えて頂きました。自らの信念と理想のもと、地域社会にいかに関与できるか、また、その過程においてどれだけ自身を高めることできるか、それがJC活動の醍醐味であると認識しております。だからこそ、予定調和の成功を得るためだけの事業展開や、費用対効果で一定の結果を図るだけの打算的事业は必要ありません。青年経済人として、持ち寄った年会費の価値をしっかりと理解・認識しながらも、故郷に希望を与え、そして仲間と共に夢を実現することができるような、そのような事業の後押しに1年間全力で取り組みます。また、本年は公益社団法人となり2年目ですが、より一層の会計の透明化・システム化に注力し、健全運営に努めます。そして、一つ一つの活動に対し積極的な関わりを持つことで、確実にコンプライアンスが遵守されるよう、役割を全うします。

愛する故郷の持続的な発展を担うのは、我々青年の責務です。全力で前に突き進み、故郷上越を盛り上げます。そして、LOMメンバーと心をついに、率先して行動・挑戦することで、他者を尊重し誇りを持てる地域社会の確立へ、小さくとも確実な成果を残します。